

第14回 行政改革推進本部会議

出席者

- ・市長 ・助役 ・収入役 ・教育長 ・総務部長 ・議会事務局長 ・企画部長 ・市民部長
- ・健康福祉環境部長 ・農林振興部長 ・観光商工部長 ・都市建設部長 ・上下水道部長
- ・教育次長 ・萩原振興事務所長 ・小坂振興事務所長 ・下呂振興事務所長
- ・金山振興事務所長 ・馬瀬振興事務所長 ・消防長 ・病院事務長 ・収入役（会計課長代理）
- ・行政改革推進室長 ・今井 ・野村

会議メモ

1. 本部長（市長）あいさつ

- ・ 行政改革は重要課題である。毎月、いろんな形で改善をはかりながらやってきているが、今後とも一生懸命取り組んでいって欲しい。

2. 各部課の取り組み状況

総務部：衆議院総選挙における事務を合理化した。今後、5箇所ある開票所について、国や県の選挙については1箇所が開票するよう検討している。ただし、小選挙区制が予定されている市議選については従来どおり5箇所の開票を考えている。

議会事務局：民間委託について、本会議の議事録に加え、委員会についても外部委託できないか検討している。また、議長車の運転の外部委託については、近隣市では事例が見られないが、委託する方向で検討をしている。

企画部：I S M Sは市民部が導入しているが、現在、教育委員会と健康福祉環境部が導入を検討している。部単位で取り組む予定があれば企画部として支援する。

- ・ テレビ電話については、画面を通じた説明に有効であり、窓口を利用できることが実証できたので、来年度当初から導入できるよう12月補正で計上し整備を図りたい。

市民部：窓口で管理している釣り銭の厳正な取扱を期すため、会計課職員立会いのもと確認するようにした。

健康福祉環境部：市の精神障害者福祉施策を今後どのように進めていくのか検討を進めている。

農林振興部：行革諸事業分科会の提案を受け、イベントについてはできるだけ住民協働で実施できるよう検討をした。

職員が減少する中、市民に参加していただく協働は大切である。今から始めないと間に合わない。市全体で考えていただきたい。

観光商工部：仕事の情報を共有するため朝礼や打合せ会議を定期的開催しているが、電話等の問合せに対応するため朝礼は始業前に実施するようにしている。

市民サービスのためには、8時半から執務できるようにしておくことが本来である。

都市建設部長：9月9日～10日の豪雨では、時間雨量44ミリを記録し多いところで170ミリの降雨があり、金山と下呂で被害が生じたが、国の災害封旧事業で対応する。被害額は県と市あわせて、約3億円となった。

上下水道部：上下水道部で進めているアウトソーシングについて、シルバー人材センターや、管設備工業組合等のほかに、市外の業者だけでなく、仕事が減少している市内の建設業に参入してもらえるようなことを考えること。

教育次長：電話の対応について所属氏名の名乗りを徹底するよう指示している。

萩原振興事務所長：車椅子の女性の方がみえて、庁舎で用事を済まされた後、職員がJAまで車椅子を押してあげたところ、大変喜んでいただき、後日電話をいただいた。

- ・ 下呂市のPR封筒の提案があった。

封筒の内側は、下呂市の観光や特産物の案内が印刷されており、封筒を広げるとパンフレットとなる。また、封筒の裏側は、市内企業の広告スペース（有料）となっている。

小坂振興事務所：電話の転送に関しては、たらいまわしにならないよう内容をよく聴いて、対応するよう指示をした。

下呂振興事務所：毎回同じ指摘がされているが、どこの部課か。しっかりやって欲しい。また、自動車の駐車場所についても決まった場所に駐車しない職員がいる。しっかりしてほしい。といった苦情が若手職員からあがっている。

- ・ 9月の集中豪雨に対する対応、連絡がうまくできなかった。改善を検討したい。また、災害時の職員の出勤に対する時間外手当について、支給できるようシステムの改善をお願いしたい。

金山振興事務所：振興事務所周辺の賑わい対策として、萩原のようは青空市は地域内で競合するので他の手法を考えたい。幸い、従来から町の音楽愛好者が街角ライブとして演奏会をしているので、振興事務所前でやってもらえるよう働きかけをしていく。

- ・ ゆったり館とスポーツセンターの利用者が減少しており、対策を考えたい。

馬瀬振興事務所：職員が不在対策として、しらさぎネットの活用、携帯電話の活用をしている。また、書類の場所についてもわかりやすく整理するよう申し合わせた。

消防本部：消防は、年齢や経験により取得する技術が職員の能力の大半を占めるため、昇任試験について、批判的な意見が多い。しかし、全体の流れということで、理解をしてもらいながら士気の低下につながらない方策を考えたい。

- ・ 9月9日～11日を救急週間として位置付け、観光会館でのべ170名が講習を受けた。下呂市が町ぐるみで救急救命に取り組んでいることがアピールできた。

金山病院：経営合理化の一環として来年3月から投薬を院外処方とするため、職員に研修会を開催した。

会計課：職員自主研修を終えて、より効果的な研修のあり方について考え直すことができた。たとえば習熟度に合わせたクラス別研修とか、マニュアルの整備、事例に基づいた実務的な研修が必要である。

3. 行政改革推進に関する進捗状況

- ・ 資料に基づき行革推進室担当から説明

4. 行政改革分科会の取り組みについて

- ・ 職場環境分科会提案のゴミだしルールについて再度説明し協力をお願いした。

5. その他

第2回行政改革職員研修会及び幹部研修会について

- ・ 資料に基づき説明し、周知を図るとともに、多数の職員が出席できるよう配慮を要請した。

行政改革大綱実施計画の策定について

- ・ 総合計画実施計画のなかで行政改革大綱の実施計画も管理していくということについて説明した。

平成18年度予算編成における行政改革分科会の提案事項の取扱いについて

- ・ 各分科会から出された提案を予算編成に活かしていただくよう説明。
- ・ 行革の進捗度については議会からも求められており、市民にもお知らせしていくべき重要な情報である。このため、予算編成においては、こういった部分で改善をしたか、行政改革の効果が明確にわかるような調書の作成について説明した。

以上